

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型支援事業所すてっぷ（放課後等デイサービス）				公表日	令和 7年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		部屋数も多いので少人数で分けたりしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	午後からの送迎で職員だけでは回らず、他の施設から応援をもらっている。	職員の確保。送迎順番の工夫。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	掲示物などを張り視覚的な配慮をおこなっている。洗面所の数が少なく、手洗いや歯磨きの時などに混雑する。	洗面所などの設備増設の提案や利用児への使い方の指導。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		段差なども少ないので行動しやすい。掃除も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		集中して取り組めない子には別室の提供をしたり取り組みやすい環境づくりをしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	ミーティングや朝礼を利用して振り返りを行っている。施設内用のモニタリングの用紙に個々の状況を記入しており、今後は相談からの聞き取りを担当制にしていこうとしている。	利用児モニタリングの担当制の導入。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表の結果をホームページで公開する予定。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティング時や職員からの意見があったときに検討して業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部からの評価を受ける機会が少ない。	第三者からの評価を受けられるような体制の整備。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	内部研修に向けて準備を進めている。	全職員が研修を受けられるような体制作り。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		皆で話し合い、その子に必要な課題を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		ミーティングやモニタリングにて確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		定期的にモニタリングを使用して確認・記載を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		その子に必要な課題を検討し計画書に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		協力しながら作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	色んな活動を知り、計画していきたい。	他の施設や検索等で活動のバリエーションを増やし、利用児に適切な活動方法を職員間で共有していく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別が必要な子には対応している。小集団活動も取り組んでいる。学習支援や機能訓練、個別活動や小集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼などで活動の準備・確認を行っている。業務終了後に個々の職員から報告を受けて、必要に応じて翌日の朝礼などに職員に伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日ではないので今後は終礼などを取り入れていきたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		更新時に必要に応じて課題の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	場面によって選択しを与え、声かけや助言を行っている。自己決定に困った時は、2つほどの選択肢を示している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		現場の職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	週末に子供たちが学校から持ち帰る週報などで下校時間や行事などを確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	担会や資料を通して情報の確認を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	まだ卒業児がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	今後はセンターとも連携がとれるように機会を作っていけたらいいと思う。	児童発達支援センターと連携をとり、助言や研修をうける機会を作っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時を利用して様子を伝えている。送迎時に保護者に状況を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	研修などの情報提供は出来ていない。	家族が参加できる研修などを今後検討していく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約の際に伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		計画書のサインの際に伝えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		説明し、同意の確認をしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があった際には助言などを行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3	保護者参加型のイベントは設けている。	年に1回、家族参加型のイベントを行っているが、保護者同士や兄弟間での交流の場を検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	上司に報告し、助言をもらい対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		定期的に発信している。 ホームページの活用。 ブログで活動の様子を公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚的のも提供している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		避難訓練は実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		防災グッズの準備や確認をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		対応や情報の提供もしてもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	食物アレルギーの子がいないので、今は取り組めていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		柱など危ない箇所にはクッション材を張っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		緊急連絡先の確認はしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ミーティングなどで防止策の話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		参加職員から内部研修を受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2			